

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

●お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- ⚠ 気をつけていただく内容です。
- ⊘ してはいけない内容です。
- ❗ 実行しなければならない内容です。

■施工上のご注意

⚠ **警告**

本製品を吊上げる場合は、2カ所で吊上げ、45°以上の吊り角度で均一な荷重にしてください。45°未満の吊り角度、荷重オーバーは本体が落下するおそれがあります。(図1)
45°吊りの場合…総質量 4.4kN (450kgf) まで(キャビネット含む)

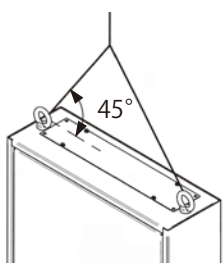


図1

アンカーボルトはキャビネット寸法および搭載品の質量・位置などを考慮の上、選定してください。床面のアンカーボルトには M12～16、壁面のアンカーボルトには M12 を取付けることができます。

アンカーボルト径	最小埋込深さL※1	短期許容引抜荷重※1
M12	60mm	6.7kN
M16	70mm	9.2kN

※1 一般的な床スラブ上面でのあと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形)使用時における参考値。設置場所、アンカーボルト種類によって値は大きく変わります。

キャビネットを自立させた形状で扉を開ける際には、クレーン、アンカーなどで固定したのを確認してから扉を開けてください。固定せずに扉を開けますと、扉の重みでキャビネットが前倒れし、けがや事故の原因となります。

下表に従いキャビネットの固定を行ってください。

⚠	フカサ 200、250mm の機種	必ず床面と壁面の両方に固定してください。(図2、3)
	フカサ 300mm の機種	床面と壁面の両方に固定するか、または床面のみに固定してください。(図2、4)

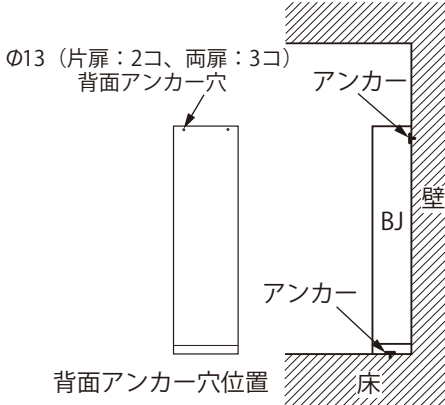


図2

◆床面と壁面で固定する場合◆

床面と壁面で固定する場合は、最前部と最後部の4カ所で固定するか中央部の2カ所で固定してください。また、左右対象で固定してください。(図3、4)

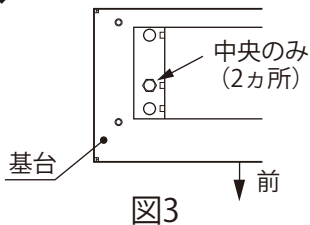


図3

◆床面のみに固定する場合◆
(フカサ 300mm 機種のみ)

床面のみに固定する場合は、必ず最前部と最後部の4カ所で固定してください(図4)。アンカーボルトの打設距離が狭くなり、引抜強度を確保することができず、転倒のおそれがあります。

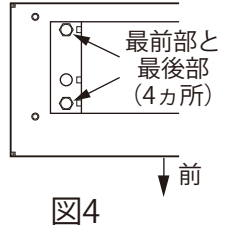


図4

⚠ 注意

キャビネットは必ず平行な床面に設置してください。床面が平行でないと扉がひずみ、IP性能を保持することができなくなります。



感電防止のため、必ず接地（アース）をしてください。接地端子は本体底面の中央に M10 ボルト（本体用主接地）、扉に M6 ボルトが用意してあります。

床面が平行でなく扉にひずみが生じた場合は、スペーサなどにより設置面が平行になるように調整してください。(図5)

調整方法

扉が①の方向にひずんだときは、
 ↑①の箇所のどちらか一方にスペーサなどを入れてください。

扉が②の方向にひずんだときは、
 ↑②の箇所のどちらか一方にスペーサなどを入れ、設置面が水平になるように調整してください。

■オプションパーツのご案内

スペーサには、オプションの「基台用スペーサ」をご利用いただくと便利です。

品名	品名記号	摘要
基台用 スペーサ	BP17-10SU	U字 (アンカーボルト)
	BP17-1030S	50mm角

【片扉】

【両扉】

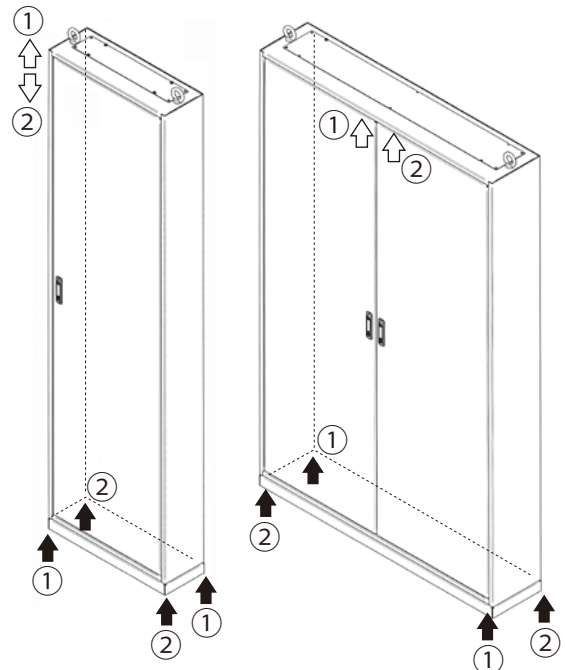


図5

■使用上のご注意

⚠ 注意

天井面への局所的な荷重は避けてください。変形の原因になります。

落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコみやひずみが発生し、強度の劣化につながります。

本製品は屋内専用です。屋外には使用しないでください。

高温、高湿、腐食性ガスなどの雰囲気での使用は避けてください。錆や腐食が発生します。

穴加工について

- ・BJシリーズの IEC 規格 60529 に基づく保護等級は、片扉製品が IP2XD、両扉製品が IP2XC(背面取付穴は除く)です。
- ・穴加工をした場合、その性能は保証できなくなります。
- ・穴加工をして取付けるパーツは、保護等級に合致したものを使用し、保護等級に応じた処置を行ってください。

キャビネットを寝かした状態で扉を開く場合はストッパーを使用するなどして扉の倒れこみにご注意ください。扉で体を挟み、けがや事故の原因となります。

各種取付ねじの締付けは適正締付けトルク値を守り、正しく締付けてください。締付けが不十分の場合、取付ねじがゆるみ、部品の脱落や保護性能が維持できなくなるおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク
M3	0.5 ~ 0.9N・m (5.1 ~ 9.1kgf・cm)
M5	2.0 ~ 2.9N・m (20.4 ~ 29.5kgf・cm)
M6	3.0 ~ 4.0N・m (30.6 ~ 40.7kgf・cm)
M8	8.0 ~ 13.0N・m (81.5 ~ 132.5kgf・cm)
M10	14.7 ~ 24.5N・m (149.8 ~ 249.7kgf・cm)

左右の基板仮置き金具に均等に荷重がかかるように基板の取付けを行ってください。片側に荷重が集中した場合、キャビネットおよび金具が破損するおそれがあります。

■仕様
【片扉仕様】

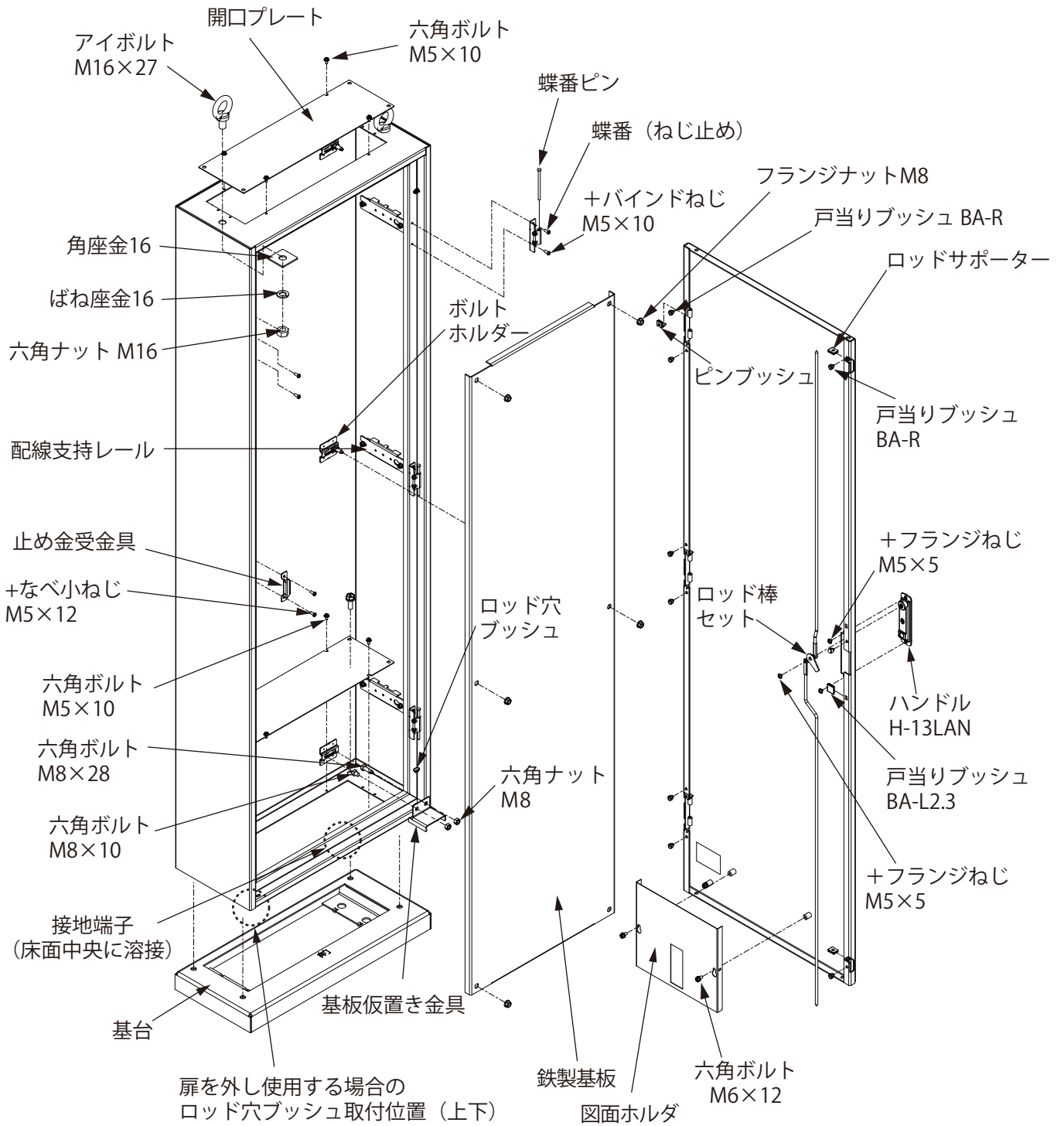


図6

※フカサ 300mm 機種の場合、
右記の部品が付きます。

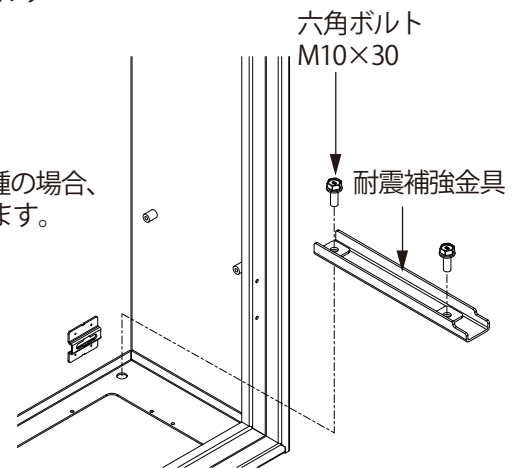
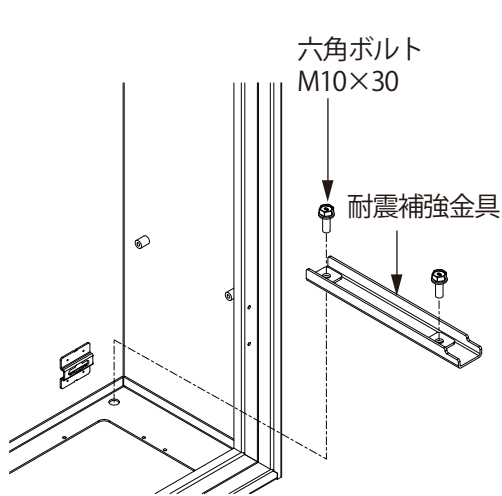
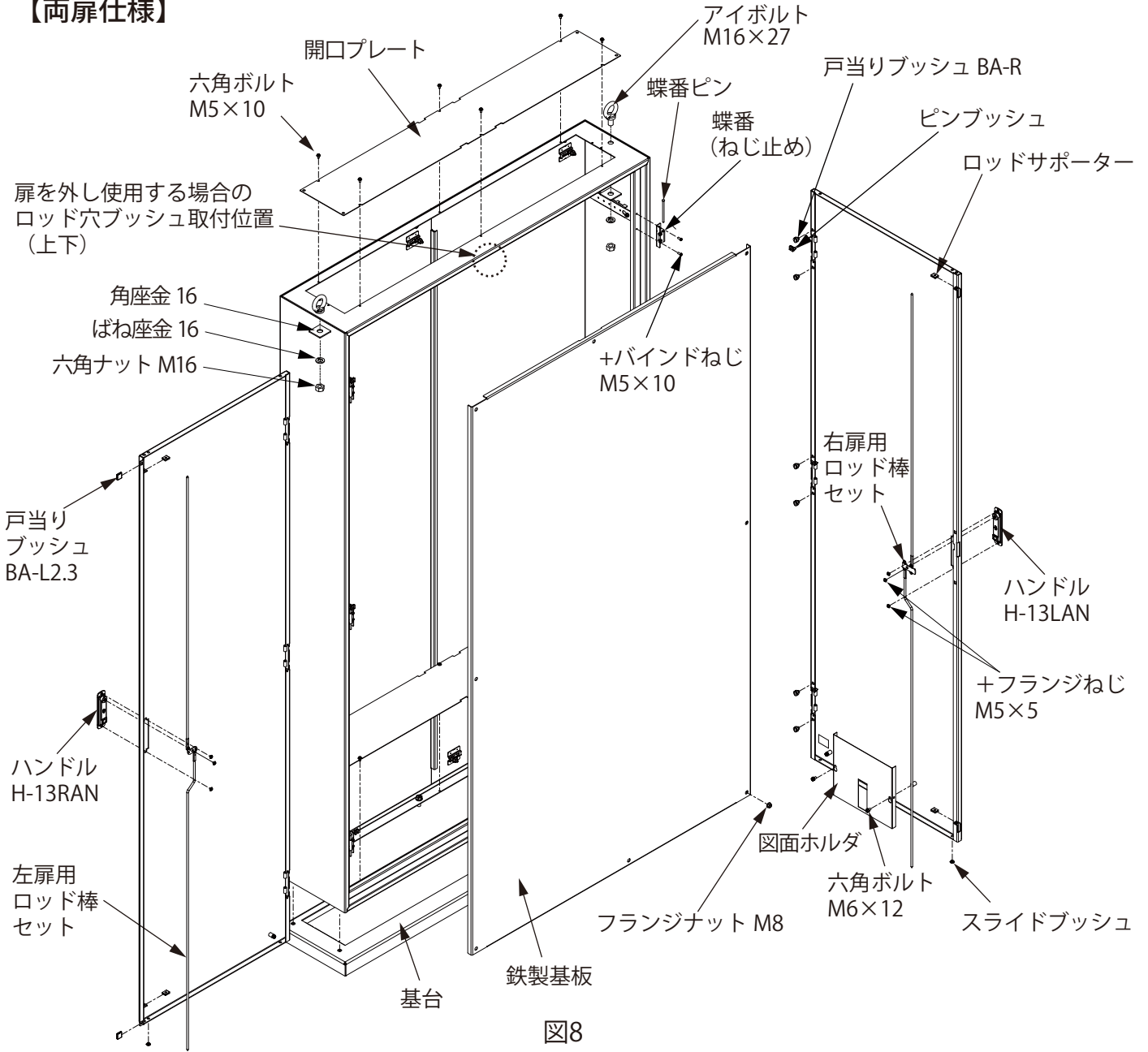


図7

【両扉仕様】



※フカサ 300mm 機種の場合、上記の部品が付きます。

図9

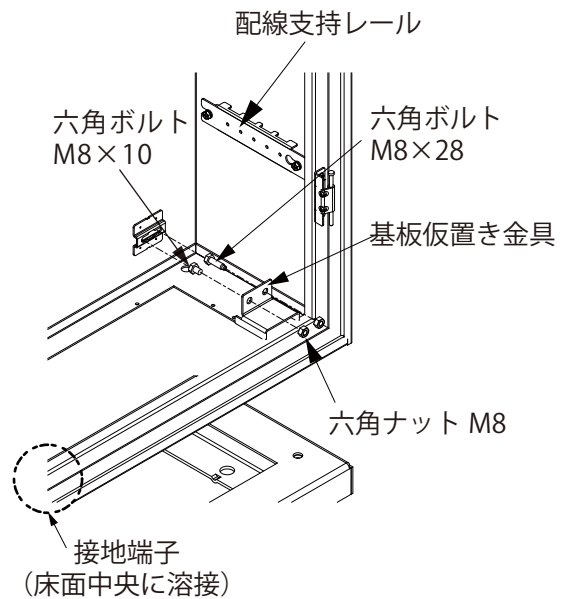


図10

■逆開き扉への変更方法(片扉)

- 1.扉を外し、蝶番、止め金受金具、図面ホルダ、ロッド穴ブッシュおよび戸当りブッシュ(止め金受金具の上下に4カ所使用)を外します。(図11)

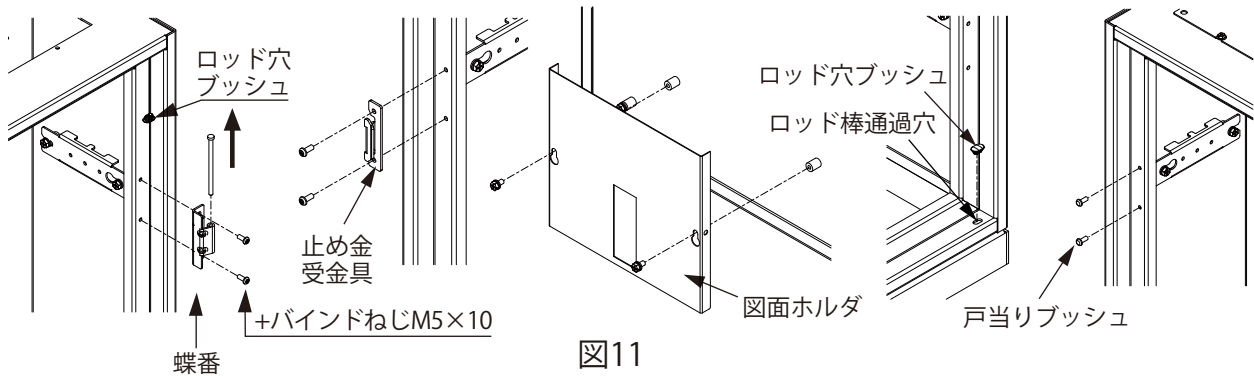


図11

- 2.蝶番、止め金受金具、ロッド穴ブッシュ、戸当りブッシュを左右反対側のフレームに取付けます。(図12)

注) 逆開き扉にした場合、製品についていた図面ホルダは取付けられませんのでご了承ください。
図面ホルダが必要な場合は盤用パーツの図面ホルダ(BP85シリーズ)をご用命ください。

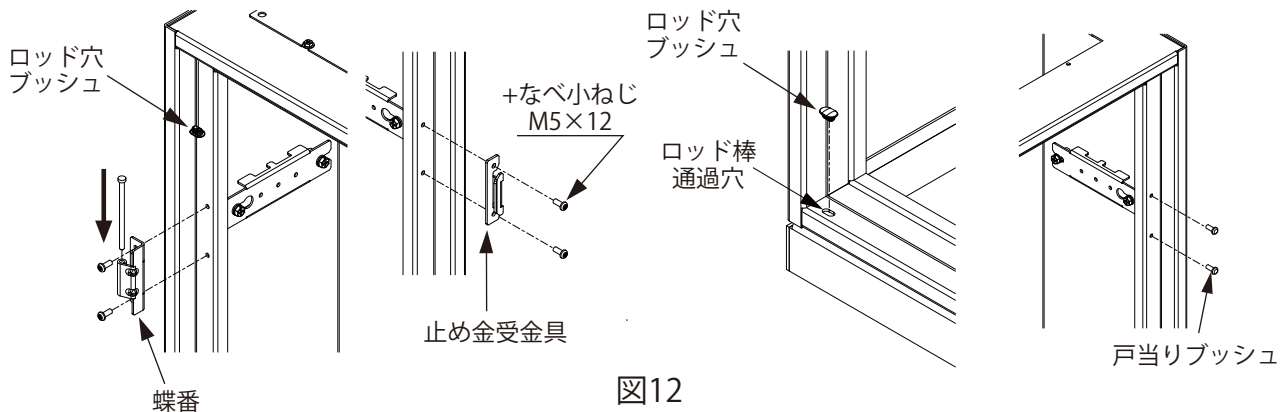


図12

- 3.扉からハンドルおよびロッド棒セットを外し、ハンドル取手の回転方向を変更します。(図13)
次ページの「ハンドル回転方向変更方法」を参照してください。また、外したロッド棒セットを組替えます。

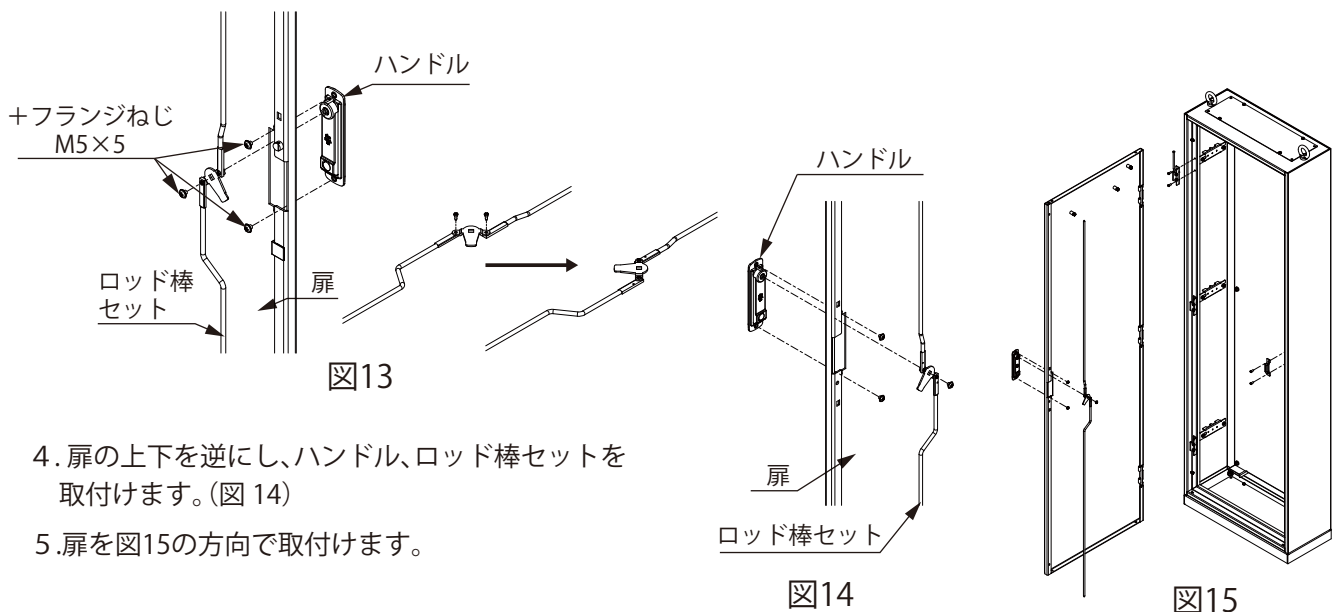


図13

- 4.扉の上下を逆にし、ハンドル、ロッド棒セットを取付けます。(図14)

- 5.扉を図15の方向で取付けます。

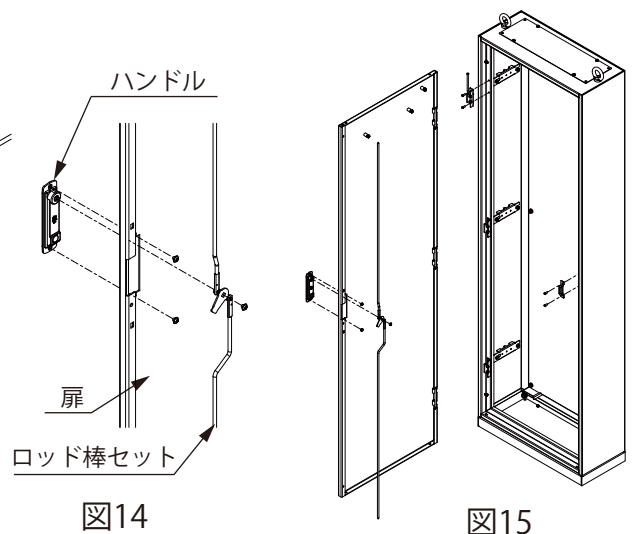



図14

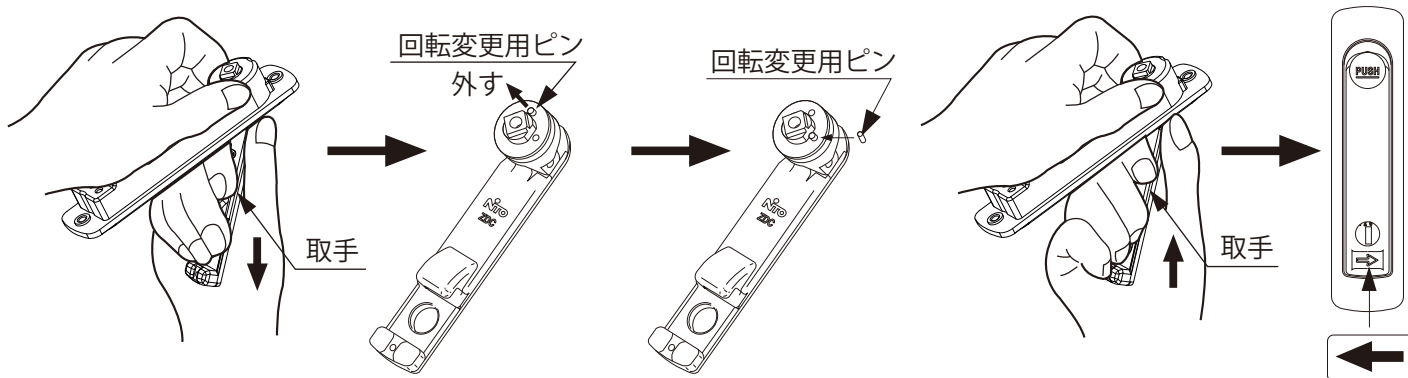
図15

■扉を外して使用する場合(EPS盤など)

- 1.扉を外します。
- 2.蝶番、止め金受金具(片扉のみ)を外して、再度ねじのみを取付けます。(図11)
- 3.付属のロッド穴ブッシュでロッド棒通過穴を塞いでください。片扉:2カ所(図6)、両扉:4カ所(図8)

■ハンドルの回転方向変更方法

1. 図のような姿勢で取手を下に引抜きます。
2. 図の位置にピンが挿入されています。これを下向きにしてピンをなくさないようにして外します。
3. 図の穴位置にピンを挿入します。
4. 図のような姿勢で取手を本体に確実に組込みます。
5. ラベルを  に重ね貼ります。



■付属品

付属品名	姿 図	数 量		用 途
		片扉	両扉	
アースボルト M10×16		2コ	2コ	アース用 
ばね座金 10		2コ	2コ	
平座金 10		2コ	2コ	
ロッド穴ブッシュ		2コ	4コ	扉を外して使用する場合に必要
アイボルトブラインドキャップ M16		2コ	2コ	アイボルト穴栓用
N200番キー		1コ	1コ	ハンドル施錠用
矢印ラベル		1枚	—	ハンドル回転方向変更用

MEMO

MEMO

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社のお客様相談室にお問合わせください。
この取扱説明書の内容は2012年5月現在のものです。

B916160923
SK-146C